

事業所名	きららSTEM西冠		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		子ども達の居場所（机、ブース）は必ず用意している	個別スペースも必要ではあるが可動式のパーティション等を取り入れ柔軟に対応できる空間確保が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		個別対応をする時間を設けていることもあり利用枠に対して対応できる職員の配置をしている	小集団活動も取り入れているためスムーズに活動を移行するための工夫は必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	子ども達の席やブースが把握出来るように名前を提示している	状況によっては事務室を活用しレールダウンが出来るようにしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	子どもの様子に合わせて過ごすブースの変更を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個室にはなっていないが使用できる環境は整っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		打ち合わせと振り返りを毎日行っている 非常勤が出勤した時間にも2回目の引継ぎを行い情報の共有を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月2回会議を行い情報共有を行い意見の把握と改善策の提案を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	月2回会議時を活用し日頃の業務に対する意見交換を行っている 内容によっては事前にアンケートを行い発信しやすいように心がけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	巡回相談など機会があれば積極的に活用し事業所の様子をみてもらい助言を頂いている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	外部研修や講演会など積極的に参加をしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページに公表を行っている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	面談の機会を設けている	面談を希望されない場合、アンケートも検討している
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	ケース会議を行い直接支援に関わる職員が取り組める内容や意見を受け入れ検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	打合せ、振り返りでの情報共有を行っている	
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2		具体的な内容に改善していく必要がある為、順次取り組んでいる
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		週ごとに小集団活動をかえながら楽しめる活動を検討している	
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	おわりの会を取り入れることで個別活動だけでなく同じ時間帯の子ども達が関わられるようにしている	

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		打合せを行っているが意識できる工夫をしていく必要があり改善策を検討している
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		記録をみながら毎日振り返りを行っている 記録に記載されていない気づき等の情報を聞き取った場合には提供記録に追記している	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		提供記録の徹底と振り返りを通して情報の共有や質疑応答を行い支援に対して深掘りを心がけている	
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	定期的な見直しと必要に応じて面談の機会を設け対応している	
	22	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自己決定、自己選択を育む機会を設けているが難しい場合は提案もしている	
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		事業所内で行われる場合は職員にも同席してもらおうようにしている	
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	保護者を通して情報提供を行ってもらっている	
	25	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	5	学校側が受け入れてくれる場合は積極的に情報交換や支援内容や対応を学ばせてもらっている	情報共有できれば参考になることもあるが学校側の協力を得るのは難しい場合が多く社会の仕組みとして改善がいと感じている
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	相談支援員さんを通して情報の共有を行ってもらっている。セルフプランの方には卒業後相談できる事業所等の案内を行っている	
	27	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		外部研修でスーパーバイズの学びを受けているが全ての職員ではないため今後内部研修も取り入れていく必要はある
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	近くの公園では地域の子ども達と一緒に過ごす機会がある	
	29	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	参加可能な会議には積極的に参加している	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		お迎え時には様子をお伝えし情報共有を行うようにしている	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		ペアレントトレーニングが行えるように専門の方から指導をうけ取り組めるようにしたいと検討している
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時、受給者証更新時に変更があった場合には確認を行っている	
保護者への説明等	33	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		事業所で見せる様子には限りがあるため保護者から様子を聞きながら目標を検討するように心がけている	
	34	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		随時必要に応じて面談を行っている	
	35	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者会を開催し保護者同士が情報共有できる機会を今後も設定していく	
	36	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった場合は迅速に対応するようにしている	
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	SNS等を活用し情報共有を行っている	

	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	鍵つきの棚に保管をし必要に応じて情報を確認している	取扱いに留意するよう指導しているが新しい職員が配置された場合には注意している
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	伝え方を具体的にしたり視覚的な方法を取り入れ理解してもらえるように心がけている	
非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		緊急連絡先や連絡方法などの訓練を増やしていく
	41	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	定期的に机上訓練や周辺の確認を行い災害時の対応を改善に留意している	保護者への周知方法には改善が必要
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		フェイスシートの更新を行い確認をしている	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全確保計画を作成し外出時の注意点や良く活用する公園までの経路を決めている	記録を残しているが全ての職員に情報を共有する仕組みを作っていく
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		些細なことでも人それぞれ危険と感じる内容が違うことを知ってもらえるように毎日確認をしている	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	定期的にチェックリストを活用し意識付けを行っている	